事例No.	2654
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	鹿児島県霧島市福山町佳例川地区自治公民館

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・観光

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

鹿児島県霧島市福山町佳例川地区自治公民館

出典

平成２９年度ふるさとづくり大賞事例集

鹿児島県霧島市福山町佳例川地区自治公民館　　鹿児島県霧島市

概　　要

過疎・高齢化で苦しむ佳例川地区は、人口321人の限界集落である。伝統行事の掘起し・特産品の開発や鹿児島大学などの外部力の導入で理想郷である「桃源郷ふるさと佳例川づくり」をすすめている。近くの地元企業である(株)トヨタ車体研究所なども協力して「ふるさと佳例川新米ウォーキング」を開催して、特産品を参加賞にあて、佳例川の自然を内外の参加者へPRしている。源流域にある農地は美土里サークル事業と連携して環境保全にも努めている。



評価された点

・人口わずか321人の限界集落であっても、地域の学生や企業など、外部パワーの支援を得、知恵と汗を持ち寄ることで、ユニークな村おこしが可能になることを示す優良事例。
・地域の子ども会や近隣の高校生・大学生が参加するなど、若い世代の参加が多い。地域の伝統行事の復活・継承することで、次世代が地域に誇りを持ち定着する「元気な限界集落」を目指している点、行政に頼らない地域おこし活動を展開している点が評価できる。
・地域資源を活用し、かつ企業などの力をうまく取り込んで限界集落らしい取組を進めておられる点は秀逸である。
・人口300人の過疎地域でも埋もれた地元の宝を掘り起し磨き上げることで経済効果を生み出している事例。
　地域づくりが自治地区で行われている例は他にもあるが、埋もれていたサツマイモの発掘、焼酎の販売、大学や企業との連携など限界集落でありながら発想豊かな積極的な取組となっており、その取組姿勢は、他の過疎地・高齢地域の参考になると思われる。
・源流域の里の暮らしの魅力を都市部の人々に伝達する、情報発信する活動は極めて重要である。産学連携等、「借りる力」のネットワーク化等も、「川づくり」という大きなテーマによる発信力が功を奏でている。

